

苫小牧市長

岩 倉 博 文 様

自衛隊輸送業務関連組織機能の誘致に関する要望

標記について、別紙の通り要望します。

平成 29年 6月 26日

[要望者]

北海道自衛隊退職者雇用協議会 苫小牧支部長 阿部光一

苫小牧地区自衛官募集相談員の会新緑会 会長 矢嶋 翼

公益社団法人自衛隊家族会 苫小牧支部長 神田峻一

公益社団法人隊友会 苫小牧支部長 工藤敏生

[添付書類] 別紙 「要望書」

[連絡先] 公益社団法人隊友会苫小牧支部  
事務局長

## 要望書

### 1 件名

自衛隊輸送業務関連組織機能の誘致に関する要望

### 2 要望の趣旨

- (1) 苫小牧港を利用する自衛隊の部隊が円滑に出入港でき、かつ緊急事態に迅速に対応可能なよう、自衛隊の港湾輸送業務に関連する組織機能の誘致を要望します。
- (2) 上記要望が迅速に達成されるよう、国に意見書を提出するよう要望します。
- (3) この際、地元の人材活用のため、本組織機能の要員には北海道在住の退職自衛官の活用を考慮されるよう要望します。

### 3 要望の理由と効果

#### (1) 理由

ア 苫小牧港は、中核国際港湾の指定を受けている北海道最大の港湾であると同時に、危機管理の観点からは、大規模災害等における救援ターミナルとしての役割を有し、北海道内外の人々の安全安心のために苫小牧港が果たす役割は甚大であると考えます。

平成 23 年の東日本大震災時、災害派遣に出動した北海道の自衛隊の人員車両の 90 %が苫小牧港から出港しました。それは、北海道の港湾の中で、内地救援のために最も迅速に機動できる利便性の高い港湾が、苫小牧港であるからに他なりません。

また、訓練や民生支援のために多くの自衛隊部隊や艦船が苫小牧港を出入しており、今後、北海道に対する自衛隊の訓練等のニーズの増加に伴い、その頻度は益々増大すると予想されます。

イ 現在、自衛隊で港湾輸送業務に携わる主要な部隊は、横浜市に所在する陸上自衛隊中央輸送業務隊で、港湾輸送の用務の都度、苫小牧港へ出張してくる仕組みとなっています。また、札幌市に所在する北部方面輸送隊内の部隊も同様です。

苫小牧市には自衛隊の部隊がなく、平常時はもとより緊急時の事前調整には、多くの困難を伴います。

このような現況に鑑み、苫小牧港の円滑運用と将来発展のため、自衛隊輸送業務関連組織機能の誘致を要望するものです。

## (2) 効果

自衛隊と苫小牧市は、災害派遣、港まつりやスケートまつりへの民生支援など、これまでも良好な協力関係を築いておられますが、本件の実現により、尚一層の協力体制が構築されるものと期待されます。

更に、ロシアとの経済協力や北極海ルートなどの件とも相まって、国が苫小牧港の重要性を再認識し、大量の輸送や緊急事態に対応しうるよう、苫小牧港の機能の充実拡充に向け積極的な施策を推進する端緒となることができると考えています。

例えば、「大量輸送に対応しうるよう航行路を整備改修すること」や「高度の技術導入による港湾機能の拡充」あるいは「札幌市や千歳空港への交通アクセス強化の促進」といった事項が考えられます。

また、国の機関たる自衛隊の組織機能の設置は、本件のみならず他の正面に関する調整機能ともなることが可能と考えられます。

以上のように本件は、苫小牧市の発展に大いに寄与しうるものと思われまます。

付紙1 「補足説明資料」

付紙2 「要望者名簿」

## 補足説明資料

### 1 自衛隊輸送業務関連組織機能の概要

#### (1) 陸上自衛隊内の輸送業務組織の機能

陸上自衛隊の輸送業務とは、飛行場または港湾、鉄道駅等において物流輸送の統制や端末地業務（誘導・検数，通関支援，役務検査等）を実施し、方面隊隷下部隊を支援する機能。

また，国際貢献活動の派遣・撤収や民間輸送機関を利用した輸送に伴う港湾等端末地業務の他、道路交通規制業務等の支援任務を行う。

#### (2) 陸上自衛隊内の輸送業務関連組織

ア 中央輸送業務隊（横浜市）

イ 北部方面後方支援隊 第101輸送業務隊（札幌市）

### 2 要望する組織機能の概要

#### (1) 組織

所長以下、数名で編成

#### (2) 事務所

新設または既存施設の利用

#### (3) 装備・設備等

車両（1～2両）、電話、事務用機器ほか業務遂行のために必要とするもの

## 要望者名簿

組織名	役職	氏名
北海道自衛隊退職者雇用協議会 苫小牧支部 (注1)	支部長	阿部光一
苫小牧地区自衛官募集相談員の会 新緑会 (注2)	会長	矢嶋 翼
公益社団法人自衛隊家族会 苫小牧支部 (注3)	支部長	神田峻一
公益社団法人隊友会 苫小牧支部 (注4)	支部長	工藤敏生

## (注1) 「北海道自衛隊退職者雇用協議会」

北海道自衛隊退職者雇用協議会は、1960年代、内地から大量に来道した自衛官の定住化と北海道の労働力確保のため、自衛隊退職後の就職援護を目的に、北海道庁と経済界が呼びかけて、賛同する企業等で組織された団体

## (注2) 「苫小牧地区自衛官募集相談員の会新緑会」

自衛官募集相談員は、自衛官募集に協力するため、市町村長と自衛隊地方協力本部長から連名で委嘱された市民を言うが、本会は、苫小牧市、白老町、安平町、むかわ町、厚真町の5市町の自衛官募集相談員で組織された団体

## (注3) 「公益社団法人自衛隊家族会」(旧「全国自衛隊父兄会」)

公益社団法人自衛隊家族会は、自衛隊員の家族(父兄等)で構成される全国組織で、昨年、父兄会から家族会へ名称変更

## (注4) 「公益社団法人隊友会」

公益社団法人隊友会は、自衛隊退職者で構成される全国組織